

科目名		建設機械				
担当教員		細海 幹人		実務授業の有無	有	
対象学科		測量建設科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方		あらゆる建設工事が機械化施工によって実施されている。そのため、建設機械の選定は安全面・施工性からも重要である。この授業では基本的な選定の方法、機械の名称（呼び名）、特徴について習得する。また、近年建設業界でも活用され始めているUAVについても学ぶこととする。				
学習目標 （到達目標）		施工管理技術検定試験にでよく出題される事項を完全に理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		テキスト（２級土木施工）、プリント				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	建設機械の選定基準（走行性・適応距離）			走行する地盤、作業距離に適した機械の選定方法を学習する		
2	建設機械の選定基準（作業種類別）			ショベル系・トラクター系・締固め機械・荷役機械について機械名称と特徴について学習する		
3	建設機械の規格			建設機械種類ごとの規格の表示方法について学習する		
4	建設機械の作業能力計算			建設機械の１時間当たりの作業量の計算方法を学び、施工計画作成に役立つことを理解する		
5	UAV			UAV（ドローン）の活用方法、基本的な法律や操縦方法について学習する。		
6						
7						
8						
9						
10						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
評価テスト		普段の取組姿勢（課題提出）				取組姿勢については、授業中の課題提出状況で評価します。
80 %		20 %		%	%	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		建設会社において測量を含む施工管理実務15年				